

平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典

3月26日（水）、平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典が当館多目的ホールにて執り行われ、隈丸優次大使と被供与団体4団体（ライフ・ウィズ・ディグニティー、プノンペン都教育・青少年・スポーツ局、クルーサー・ユーン・アソシエーション、クラチェ州教員養成校）の各代表が贈与契約書に署名を行いました。



ライフ・ウィズ・ディグニティーが実施する案件では、コンポンチュナン州サマキミアンチェイ郡チュロックタナオ小中学校に新校舎1棟、トイレ2棟8室、雨水タンク3基を建設することによって、児童・教職員485名に裨益することが期待されています。

また、プノンペン都教育・青少年・スポーツ局が実施する案件では、同都プレイクコンプー中学校に新校舎1棟、トイレ1棟8室、及び机椅子等の学習用機材もあわせて整備し、安全面・衛生面共に整った教育環境の向上が図られ、同中学校の440名の生徒・教職員に裨益することが期待されています。



加えて、クルーサー・ユーン・アソシエーションが実施する案件では、カンダール州のコットム郡とアンスノール郡の3幼稚園に対し、園舎建設及びトイレ1棟3室、及び雨水タンク1基をそれぞれ建設し、あわせて机椅

子等の学習用機材も行うことによって児童、職員 225 名が安全で衛生的な環境のもとで学習活動が出来るようになることが期待されています。

さらに、クラチェ州教員養成校が実施する案件では、同養成校に新校舎 1 棟、トイレ 1 棟 8 室、及び机椅子等の学習用機材もあわせて整備し、安全面・衛生面共に整った教育環境の向上が図られ、同中学校の 440 名の生徒・教職員に裨益することが期待されています。



式典では、隈丸大使がスピーチを行い、今回整備される教育施設について被供与団体によって適切に管理されることを望んでいると述べ、今回の支援がカンボジアの草の根レベルの人々に直接裨益し、日本とカンボジアの更なる友好促進につながることを願うと結びました。続いて、各被供与団体の代表が、日本国民及び政府への感謝の意を表明し、学校関係者、地域住民の手によってこれらの施設を維持していくことを約束しました。

